

令和6年度 第2回土木計画学研究委員会 議事録

日時：令和6年11月15日（金）14:30-15:30

場所：ハイブリッド

対面会場：岡山大学 一般教育棟D棟（1階）D-13

オンライン：zoom

■ 出席者（敬称略，順不同）

委員長：佐々木 邦明（早稲田大学）

副委員長：辰巳 浩（福岡大学）＊，山崎 基浩（豊田都市交通研究所）

幹事長：福田 大輔（東京大学）

学術小委員会：岸邦宏（北海道大学），平石浩之（日本能率協会総合研究所），鈴木雄（北海学園大学）

大会運営小委員会：日比野 直彦（政策研究大学院大学），有村幹治（室蘭工業大学），和田健太郎（筑波大学）

令和6年度秋大会開催校幹事：橋本成仁（岡山大学）

令和7年度春大会開催校幹事：梶谷義雄（香川大学）＊

委員兼幹事：浅田拓海（室蘭工業大学），井上亮（東北大学），金子素子（アルメック）＊，樋口恵一（大同大学），山口裕通（金沢大学），大平 悠季（東京都立大学），大山 雄己（東京大学），加藤 哲平（長岡技術科学大学），佐藤 史弥（山梨大学）＊，中尾 聡史（京都大学），兵頭 知（徳島大学）

事業運営小委員会：藤原章正（広島大学），柴崎隆一（東京大学）（代理：川崎智也（東京大学））＊，室町 泰徳（東京科学大学），藤井聡（京都大学）＊（代理：鈴木春菜（山口大学））

研究小委員会：[欠] 神田佑亮（呉工業高等専門学校）（代理：早内玄（名古屋大学）＊），森川高行（名古屋大学）＊，藤井聡（京都大学）＊，安間匡明（福井県立大学）＊，河野達仁（東北大学），[欠] 高木朗義（岐阜大学）（代理：畑山満則（京都大学）），[欠] 倉内文孝（岐阜大学）（代理：東善朗（岐阜大学）），[欠] 山田忠史（京都大学）＊，古屋秀樹（東洋大学）＊，[欠] 清水哲夫（東京都立大学）（代理：岸邦宏（北海道大学）），[欠] 加藤博和（名古屋大学）（代理：宮崎耕輔（香川高専））

※オブザーバー：[欠] 貝戸清之（大阪大学）（代理：織田澤利守（神戸大学））＊

＊：オンライン参加者

■ 欠席者（敬称略，順不同）

廣瀬健二郎（国土交通省），谷下雅義（中央大学），中村一樹（名城大学），石井良治（計量計画研究所），尾野薫（宮崎大学），金子素子（アルメック），福井のり子（バイタルリード），柳沼秀樹（東京理科大学），秋山哲男（中央大学）

■ 議事（敬称略）

1. 委員長挨拶他

- ◆ 佐々木委員長から挨拶があった。
- ◆ 秋大会開催校担当の橋本先生から挨拶があった。

- ◆ 土木学会事務局小澤様の後任の小林様から挨拶があった。

2. 前回議事録（令和6年度第1回幹事会）の確認（福田）

資料2

- ◆ 議事録について原案どおりの内容で承認された。

審議事項

3. 研究小委員会の設置について（尾野，兵頭）

資料3

- ◆ 織田澤先生より，新規の研究小委員会「社会インフラがもたらす多様な価値に関する研究小委員会」の設置（期間は2024年11月から3年間）について説明があり，原案どおりの内容で承認された。

4. 研究小委員会の期間延長について（尾野，兵頭）

資料4

- ◆ 河野先生から「沿岸まちづくりにおける経済学的手法研究小委員会」延長理由について説明があり，1年間の延長について承認された。なお，今後も期間がさらに延長する可能性があり，その場合には来年度に再度延長の審議を行う予定である。
- ◆ インフラ・ファイナンス研究小委員会（2024年12月まで），災害データサイエンス研究小委員会（2024年11月まで），多様な地域課題を解決する道路交通・ITS事業形成に向けた研究ネットワーク構築小委員会（2025年3月まで）については，それぞれ当初予定通りに終了することが各担当委員から報告された。
- ◆ 半年毎の活動報告がまだなされていない小委員会があるので報告をお願いしたい（福田）。

5. 予算の執行計画について（福田）

資料5

- ◆ 現在，残額580万円があり，活用（例えば，能登半島調査や特集号投稿システムの改善など）について，ご意見やご提案があればいただきたい旨の説明があった。

6. その他

- ◆ 特になし。

報告事項

7. 学術小委員会からの報告（岸）

資料6

- ◆ 土木学会論文集（土木計画学）特集号（Vol.80）の査読状況，スケジュール等について説明があった。
- ◆ 「方法と技術」及び「政策と実践」の両査読カテゴリーについて，来年度以降の体制は検討中であり，今年度中には確定する予定である。2025年度の春大会委員会で承認されるスケジュールで事前に案を作成しながら進めることとなった。

8. 大会運営小委員会からの報告（日比野）

資料7a, b

- ◆ 本年度秋大会，次年度春大会の準備状況について説明があった。
- ◆ 昨今，参加者が増加しており，セッション調整や会場確保が困難な状況であることが指摘された。今後，CD-ROMの廃止検討と併せて投稿登録などの見直しを議論したいことの問題提起がなされた。
- ◆ 来年度の秋大会は福井大学・福井工業大学共催での開催（2025年11月22日～24日）を予定していること，また，委員会報告，招待講演，懇親会の参加者増加のために，これらを11月23日に開催する計画であることが報告された。
- ◆ 有村先生から次年度春大会について説明があった。2025年6月7,8日に香川大学にて開催し，教室の確保等を進めていることが報告された。参加者数次第では，ポスターセッションに

3セッション分の枠が必要となる可能性があることが示された。なお、開催地自治体からの補助活用を検討しているが、参加者の宿泊情報の提出が必要となるため、今後相談したい。

9. 「方法と技術」運営小委員会からの報告（室町） 資料 8

- ◆ 室町先生から、体制、投稿、掲載状況等について報告された。「政策と実践」との違いについて、一部の編集担当委員から査読者が混乱しているのではとの声があったことが報告された。

10. 「政策と実践」運営小委員会からの報告（藤原） 資料 9

- ◆ 藤原先生から体制、投稿、掲載状況等について報告された。採択までの期間が長い（平均10ヶ月）ことが課題であるとの説明があった。

11. 幹事会からの報告

(ア)全国大会関連（井上，浅田，加藤，中尾） 資料 10

- ◆ 井上先生から研究討論会および特別講演会について報告があった。

(イ)その他（佐々木，福田，山口，大山）

・重点研究課題の募集 資料 11

- ◆ 福田幹事長から、最近応募が少ないので、各小委員会で希望があれば、幹事会まで連絡されたいとのお願いがあった。

・土木計画学研究委員会の歴史（土木学会略史より） 資料 15

- ◆ 福田幹事長から、資料15「土木計画学研究委員会の歴史」を公開する方向で検討していることが報告された。

※資料中の表12に不足があるため確認されたい（日比野先生）。

・能登半島地震特別プロジェクト関連のセッション 資料 12

- ◆ 福田幹事長からセッション開催の説明があった。また、土木学会論文集通常号における「特集企画」の設置を検討中であることが報告された。
- ◆ 樋口先生（物流チーム）から、能登半島における物流関連のデータを購入したことについて報告があった。福田幹事長から、分析等活用の希望がある場合には幹事会に連絡を頂きたい旨の説明があった。

・秋大会における委員長主催スペシャルセッションについて 資料 13

- ◆ 佐々木委員長から、特に学生に参加していただきたいとのお願いがあった。

12. 研究小委員会，事業運営小委員会からの報告（各小委員長） 資料 14

- ◆ 特になし。

13. その他

- ・ 次回の幹事会予定（3月16日に函館で幹事会合宿を行う予定）

14. フリーディスカッション

- ・ 下記のような意見が出た。

- ◆ 特に秋大会の地方での開催にあたっては、開催校のキャパシティやホテル不足の懸念から、投稿件数を絞るなどの検討が必要となる局面にある。
- ◆ CD-ROM 配布は辞める方向が良いのでは。ただし、WEB 配布でやるとして、パスワードの管理などをどうするのかなど議論する点が様々あるため、他分野、他学会の方法を見ながら調整、検討を進めることが重要である。
- ◆ 現状の特集号の投稿・査読システムの煩雑さに課題があることが指摘された。
- ◆ 特集号における「方法と技術」「政策と実践」のカテゴリ分けは投稿者責任が良いのでとの意見が出た。

以上（議事録作成：浅田）